



# 訪問看護ステーション通信

25年春版

若葉青葉の頃、平素はひとかたならぬご愛顧を賜り、ありがたく深謝申し上げます。  
おかげさまで、当ステーションも10周年を迎えることができました  
これからも地域の皆さまにわかりやすく、安心してご利用いただけるサービスの提供に努めていきたいと思っております  
「訪問看護師さんって なぁーにしてくれるの?」「ヘルパーさんと どこが違うの?」との声にお応えいたしまして  
具体的な事例から、在宅看護をより身近に感じて頂きたいと考え 通信を発行しました  
ご参考にしていただけたら幸いです。

## ～太田川ひがし病院 訪問看護ステーションの紹介～

場所 広島市東区戸坂山根1丁目24-20

活動エリア (東区)戸坂・牛田・中山 (安佐北区) 高陽町 (安佐南区) 川内 東野 東原

スタッフ 看護師 8名 リハビリスタッフ2名

所長 上野 正美

TEL 082-220-1551

FAX 082-220-5551



## 認知の方の内服あれこれ・・・

訪問看護利用者の中には、認知症で服薬管理を必要とする方も多くいらっしゃいます。その中の2事例をご紹介します。

写真①一人暮らしの認知症の方。家事は一切されない方ですが、1日の行動パターンがある程度決まった方で、起床後、テーブルの上の日めくりカレンダーをめくる習慣をもたれていました。  
その行動習慣を活用し、カレンダーに朝の内服を貼りつけ自分で服用してもらうパターンです。

写真1



写真2



写真②一人暮らしの認知症の方。  
短期記憶障害著明にて内服忘れ多し。  
毎日新聞を読む習慣があり新聞の日付けで曜日の確認をされていたので、その習慣を活用しデジタル時計(日付け・曜日表示のある)の下に薬をセットし自分で服用してもらうパターンです。

認知症の方は、記憶障害にて内服管理が難しい方が多くいらっしゃいます。私達看護師はできない事を注目するのではなく、出来る事に注目し本人の生活パターンに合わせた服薬方法を共に考え提案させてもらっています。

ADL的には自立されていても、内服管理ができていない方は多くいらっしゃいます。また、ある程度できる方は介護される事を拒否される事も多いため、看護師がまず最初にケア介入としてはいいり、その他のサービス業者へつなげる事もありますので、困った事があればいつでも訪問看護にご相談ください。

